

全国保育実践交流会ニュース

2018年11月 東海地区発行



爽やかなこの季節、全国各地で運動会が行われ、子どもたちは精一杯自分を出して取り組み、様々なドラマと感動が繰り広げられたことと思います。

今年の夏は大きな台風が三度も到来し、西日本を中心に全国各地で暴風による被害や土砂くずれなど大きな被害があり、また関西、北海道の地震被害など、心痛む出来事がたくさんありました。“想定外”という言葉がその度に使われましたが、災害に対する日々の備えや避難対策はとても大切なことだと思います。でも世界的な異常気象の原因といわれている温暖化現象は経済中心主義がもたらしたものです。楽で便利と使い捨てにどっぷり浸かってしまった私たちの生活を根本から見直すことも今大事なのではないでしょうか？

東海地区では今年度も4月、7月、12月の三回職員の学習会をいれた交流を行っています。また年長合宿だけでなく、各年齢も職員が各園を訪問して日々の保育をお互いに検証し学びあっています。

その様子の一部をニュースでお届けしたいと思います。

《職員学習会&講演会》 恵の実保育園にて

7月7日(土) 午前:年齢別分科会

午後:講演会 末宗 辰彦氏 (保育者、教育、療育、保健関係者対象)

夜 :同上 (保護者対象)

“子どもの育ちは五感とことばの一致”

昨年島根での実践交流会秋の研修会で末宗辰彦氏の講演を聞き、参加できなかった保育者や保護者に是非聞いてほしいと思い計画しました。

“知ることは感ずることの半分も重要ではありません”“人は言葉によってのみ人間である(フンボルト)”“時代が変わっても乳幼児期の子育ては変えてはいけない”就学までに必要なことは、①人の話が聞けること②それに対して受け答えができること、話せること③自分の思いを相手に伝えることができること。乳幼児期は五感をフルに使って生活しているから、それを親や保育者が共に体験し共有して、感動をことばにすること、“五感のことば”が大事。そこで心が育ち、想像力、創造性、主体(自分)が育つ。この時期に楽な子育てを求めたり、時代についていけないのではないかなどと言って、映像文化やテレビ、ゲームを与えては、害しかない。動かない主体性のない想像力の働かない子にしていいいのか。メリハリのあるお話と絵本からの豊かな感性溢れる言葉にあつという間に時間がたってしまいました。内部、外部ともに感想もたくさん寄せられ、開催した手応えが感じられる会になりました。

【保護者の感想の一部】

『良い絵本をただ読み聞かせればいいのではない。子どもと感動を共有し、さらに価値観や人生観の共有が子どもの育ちにとって大事だとわかりました。』

『メディアが乳幼児期に与える悪影響がよくわかりました。バーチャルではなく、生の体験をたくさんさせようと思います。子育てに手間をあまりかけないという言葉には反省させられました。』

《年長交流 八方尾根登山合宿》

宿泊:桃源の里、登山指導:野俣俊隆氏

・7月18日～20日、おひさま保育園と蓮華の家共同保育園

・7月25日～27日、恵の実保育園とたけのこ保育園

2泊3日の合宿の中日に八方尾根をゴンドラ、リフトを乗り継いで、八方池から唐松岳山頂に向けて扇雪溪まで登り、雪溪で雪合戦をするのを目標に登ります。今年は2回とも天候に恵まれ、流れる雲の合間から見える雄大な北アルプスの山々を眺めながらの登山ができました。全員が、無事に雪溪で雪合戦を楽しみ下山する中、色とりどりの高山植物や、ラッキーな事に手にとまってじっくりとアサギマダラの蝶を見ることができました。それぞれが自分に向き合い、仲間と共に励まして、どの子ども普段ではできない体験と達成感で、心も身体も一回り大きくなった合宿でした。

今年は猛暑の為、前日に水の美しい姫川で水遊びができた事も、他園同士が交流していく中で、リラックスしながらお互いを知るのに良い活動となりました。



《年長交流 たけのこ運動会合宿》

9月25日(火)～27日(木)、たけのこ保育園にて2泊3日で「運動会合宿」が行われました。5月・6月・7月の交流や合宿でずいぶん仲間を感じ、関わりあえるようになってきました。「生活や遊びを通して仲間意識を深めていこう」「班の中で自分の意見や思いを出して話し合い協力し合って取り組もう」と合宿中の班長を半日ではなく1日交代としました。班長を中心に仲間と協力して当番活動に取り組む姿や、初めてのリズムや苦手なものにも楽しく取り組み、できるようになったことを喜びあう子ども達の姿が見られました。子ども対大人の綱引きでは、39人の子ども達が一致団結し、大人にも負けない迫力を見せ見事勝ち、大喜びしました。

夜の話し合いでは、手立てが必要な子に大人がどう関わるのかも話し合われ、「イヤダ」だけで終わらせない、“間”を置くことも必要。仲間の中でどう育てていくか?「イヤダッダケドデキタ」の成功体験を積み上げ一つずつ自信につなげていく事が大事…など大人がその子達に対してどう要求していくのかも確認することができました

